LA VIDA EN MÉXICO

～CEPE での最後のクラス～

TAKU MINAGAWA Vol.10

ロ□イベントでの受賞

先月号で紹介した FICA（国際友好文化フェア）2019 のイベントですが、私が設計デザインに参加した日本パビリオンのブースが 6 月に開催されたイベントの閉会式にて、最優秀デザイン賞を受賞しました！アジア、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカ大陸等々の出展国 90 カ国の中から最優秀という大変貴重な賞を頂く事が出来、素晴らしい経験となりました。

〔パビリオンと賞状〕

ロ□セペでの授業（最難関レベル 8 !?）

学校でのクラスも最後となり、5 月からは CEPE における最高レベル（Superior）であるレベル 8 のクラスが始まりました。CEPE で学ぶ留学生は大方がレベル 8 のクラスまでは受講しないので、自然とクラスの人数は少人数になります。今回のクラスでは生徒 4 人（アメリカ、ロシア、日本）のみで、非常にアットホームで楽しい雰囲気のクラスでした。

レベル 8 には期末テストは無く、その代わりに各自のプロジェクトに取り組む事になります。プロジェクトとは各学生の関心のあるテーマ・問題を自由に選び、そしてそれに対して結論を与える、言わば論文発表の様なものです。それを文章で表し、毎週プレゼンテーションをし、1 ヶ月半をかけて徐々にブラッシュアップをしていきます。

〔クラスの様子〕

ロ□私のプロジェクト

私が選んだテーマはカリブ海に面するカンクンで起きている Sargazo（サルガッソ＝藻の一種）の問題です。カンクンは世界的に有名な観光エリアで、日本人にとってはハネムーンの渡航先として人気があるリゾート地です。しかし、近年温暖化の影響で、カンクンのビーチに突如大量の藻が発生する様になっているのです。

〔海岸を襲うサルガッソ〕

私のプロジェクトでは何故サルガッソが起きるのか？それを解決する糸口はあるか？と言うストーリーで研究、論文作成を進めました。

日本は日常的にワカメ・昆布などの海藻類を食しているので、何か解決の糸口があるのでは無いかと考えたのです。

調べてみると、サルガッソを利用した面白い研究、再利用方法が行われている事が分かりました。

LA VIDA EN MÉXICO

～CEPE での最後のクラス～

TAKU MINAGAWA Vol.10

〔再利用された靴〕

〔ブロックとして使われる例〕

それらはサルガッソを再利用した靴、あるいはサルガッソを利用したブロックでエコ住宅を作るなどの例で、どれも大変興味深いものです。とりわけ住宅は従来のコンクリート・煉瓦等で建設するよりも大幅にコストを削減ができるので、家を持つことができない貧しい人々への支援にも繋がるアイデアです。

日本において、海藻類は食べるだけでなく化粧品や医薬品の一部としても使われていますが、近年、福岡県の行政がサルガッソ問題を解決、再利用の為にカンクンの行政(キンタナロー州)と共同研究を始めたとのニュースもあり、これからの展望がとても楽しみです。

ロ□CONACYT(コナシット)での修了式

6 月末にはメキシコ政府の組織であるCONACYT にて今回の研修プログラムの修了式が開催されました。この修了式は 1 年間に渡る研修の締めくくりとなるイベントで、各メンバーにプログラムの修了証書が渡され、私はリーダーとして最後のスピーチをスペイン語でさせて頂きました。

〔スピーチする筆者〕

学業や自分の活動の傍らリーダーの業務を行うのは大変でしたが、その分得るもの・学ぶものも多く、同期一同が皆笑顔で修了式に参加する事が出来、リーダー役を任せて頂けてとても良かったと感じています。

メキシコでの生活も残すところあと一カ月あまりですが、健康面に気をつけ、引き続きメキシコでの学びを深めて行きたいと思います。

〔修了式を終えた 46 期研修生一同〕